

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (1)	環境を核とした活力ある産業創出
---------	-----------------

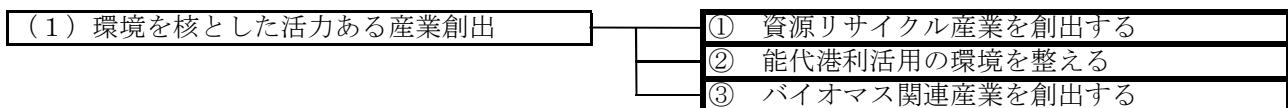
基本構想でめざす姿や状態

- 地域資源の活用により、産業の創出や関連企業の立地につながること。
- 能代港の利活用により、地域に活気が出ること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5 年後の目標 (平成24年度)	10 年後の目標	備 考
資源リサイクル関連施設・増設企業数	0件 (H18年度)	5年間で5件	10年間で10件	
地域資源を活用した商品や製品を利用することを心がけている市民の割合	34.2% (H19年度)	45.0%	55.0%	市民意識調査
能代港の外港・内港商船入港船舶数（能代火力発電所専用桟橋を除く）	277隻 (H18年)	330隻	350隻	
能代港の貨物量（能代火力発電所専用桟橋を除く）	483,562 t (H18年)	547,000 t	571,000 t	

施策の体系



実施事業の概要

① 資源リサイクル産業を創出する

事業区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	<b>港湾利用地域振興基金事業</b> 港湾利用地域振興基金を活用したリサイクル関連施設整備、関連企業立地等の支援	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 1.5

② 能代港利活用の環境を整える

事業区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	<b>能代港利活用促進事業</b> 港湾利活用促進のための情報収集及び企業訪問活動等	実施	実施	実施→	24年度にまなす画廊に共用自転車設置	百万円 2.8
	<b>能代港改修事業（県事業負担金）</b> 県が実施する重要港湾改修事業への負担	実施	実施	実施→	継続して実施	7.5
市民	<b>みなと祭り補助事業</b> 港をPRするためのイベント開催への補助	補助	補助	補助→	継続して補助	1.1

③ バイオマス関連産業を創出する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点見直	<b>バイオマスタウン構想推進事業</b> 能代市バイオマスタウン構想推進のためのバイオマス利活用の調査研究等	実施	実施	実施	これまでの実績の検証と事業の見直しを検討	百万円 1.3

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (2)	雇用を産み出す企業立地
---------	-------------

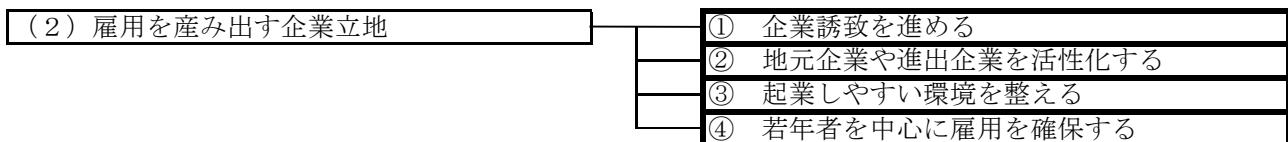
基本構想でめざす姿や状態

- 新たな企業立地や起業により、若いを中心雇用やチャレンジの機会が増えること。
- 企業誘致に関する情報が十分に企業に伝わり、企業立地につながること。
- 地域と企業の連携により、雇用創出などの効果を發揮できること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5 年後の目標 (平成24年度)	10 年後の目標	備 考
新設・増設企業数（リサイクル関連企業数を含む）	3件 (H18年度)	5年間で10件	10年間で15件	
有効求人倍率	0.40倍 (H18年度)	県平均に近づける	県平均を上回る	
新規高卒者の就職内定率	95.9% (H18年度末)	99.0%	維持	

施策の体系



実施事業の概要

- ① 企業誘致を進める

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	<b>企業開発事業</b> 工場等の新增設への奨励措置、企業立地促進のための情報収集、企業訪問等	実施 (拡充)	実施	実施	→ 24年度に関東圏企業誘致セミナーを開催	百万円 11.0
	<b>能代工業団地交流会館管理運営事業</b> 能代工業団地内企業の従業員等の交流や福利厚生を図るための交流会館の管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	→ 継続して管理運営	4.5

② 地元企業や進出企業を活性化する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>中小企業融資あっせん等事業</b> 事業資金を必要とする中小企業者への融資あっせん等	融資あっせん等	融資あっせん等	融資あっせん等	継続して実施	百万円 407.6
	<b>東北地方太平洋沖地震復旧支援資金利子補給費補助事業</b> 県で実施した東北地方太平洋沖地震復旧支援資金を利用した市内事業者に対する利子補給	実施	実施	(終了)→	25年度で終了	64.0
見直	<b>商工会議所・商工会補助事業</b> 能代商工会議所及び二ツ井商工会の事業等への補助	補助	補助	補助	補助基準の見直しを検討	6.3
	<b>のしろ産業フェア補助事業</b> 地域産業の振興を図るためのPRイベント等に対する補助	補助	補助	補助	継続して補助	2
	<b>秋田杉の里ニツ井まつり補助事業</b> 二ツ井地域の産業振興のためのPRイベント等に対する補助	補助	補助	補助	継続して補助	0.1
	<b>伝統的工芸品等振興支援事業</b> 伝統的工芸品等産業における中小企業等への支援	(制度設計) (新規)	(支援)	(支援)→	25年度より支援開始	—

③ 起業しやすい環境を整える

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	<b>起業・新商品開発等支援事業</b> 起業や新商品開発、異業種参入に助成、地域資源活用等による商品開発に重点的に支援	支援	支援	支援	継続して支援	百万円 6.2
重点	<b>チャレンジショップ事業</b> 新たな事業の試行を支援するための貸しスペースの設置	実施	(終了)→		24年度に成果を検証し今後の事業を検討	2.3

④ 若年者を中心に雇用を確保する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>地域雇用総合対策事業</b> 新卒者の就業支援及び求職者の面接機会の確保	実施 (縮小)	実施	実施	23年度で県補助金が終了するが一部事業を引き続き実施	百万円 0.8
見直	<b>デュアルシステム事業</b> 就職希望の高校3年生等を地元就職・定着に結び付けるための地元企業での職業実習等	実施 (検証)	実施	実施	24年度に事業効果を検証	1.1
	<b>中小企業緊急雇用安定助成事業</b> 国の中小企業緊急雇用安定助成金を受給した企業に対する市の嵩上げ助成	助成	助成	助成	継続して助成	1.5
	<b>地域総合整備資金貸付事業</b> ふるさと財團のふるさと融資制度に基づく民間事業活動への無利子貸付	(貸付)	(貸付)	(貸付)→	ふるさと融資制度に基づき該当事業へ貸付	—
	<b>就職推進員設置事業</b> 内職希望者等の相談、紹介、情報提供のための就職推進員の設置	実施 (拡充)	実施	実施	23年度で終了のハローワーク等からの派遣の代替を配置	1.1

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (3)	力強くて持続する農業
---------	------------

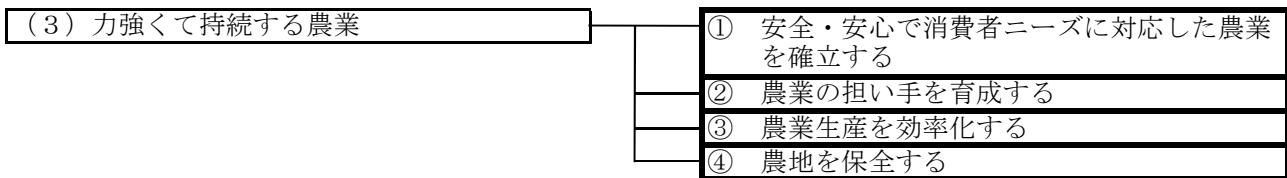
基本構想でめざす姿や状態

- 地元産の農産物や加工品の市場評価が高まり、産地として確立すること。
- 農業が魅力的な職業として成り立ち、若い人を中心に農業の担い手が増えること。
- 農業の生産性が高まり、経営の強化につながること。
- 食の大切さへの理解が深まり、食育が浸透して実践につながること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
野菜作付面積	745ha (H17年度)	740ha	維持	
担い手農地集積率（個人・集団を含む）	46.8% (H17年度)	74.3%	増加に努める	
地元産の農産物は安全でおいしいと思う市民の割合	77.5% (H19年度)	80.0%	85.0%	市民意識調査
学校給食で使用している野菜類のうち秋田県産の割合	28.8% (H18年度)	35.0%	40.0%	

施策の体系



実施事業の概要

① 安全・安心で消費者ニーズに対応した農業を確立する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>畑作技術振興事業</b> 野菜・花き生産農家の生産技術向上のための農業技術センターでの栽培実証等	実施	実施	実施→	他機関との連携（人的援助の可能性等）を検討	百万円 6.7
	<b>農産物販路拡大対策事業</b> 首都圏等での販売、取引先との交流等	実施	実施	実施→	継続して実施	0.8
重点	<b>野菜産地拡大対策補助事業</b> 市の戦略作物の栽培面積拡大分に対する育苗資材費への助成等	補助	補助→ (終了)		25年度で終了（畑作振興基金事業）	5.0
重点	<b>みょうが根茎腐敗病被害対策補助事業</b> みょうが根茎腐敗病の防除剤の購入に対して助成	補助	補助→ (終了)		25年度で終了（畑作振興基金事業）	4.5
	<b>カドミウム吸収抑制対策技術普及推進事業</b> 秋田県カドミウム吸収抑制協議会で実施しているカドミウム高吸収稻品種の実証試験費用の負担	実施	実施→ (終了)		25年度で終了	0.2
	<b>湛水管理支援事業</b> カドミウム含有米の発生抑制のため、出穂期前後3週間の湛水管理を実施	実施	実施→ (終了)		県補助金の終了する25年度で終了	2.3
	<b>環境保全型農業直接支援事業</b> 化学肥料、農薬を5割以上低減かつ温暖化防止等に効果が高い省農活動に取り組む農業者を支援	支援	支援	支援→	継続して支援	0.8
	<b>食育推進事業</b> 食育と地産地消を推進するための活動等	実施	実施	実施→	継続して実施	0.3
	<b>稲作病害虫防除対策補助事業</b> 病害虫の発生防止のための無人ヘリの一斉防除に対して助成	助成	助成	助成→ (終了)	26年度で終了	4.5
	<b>第135回秋田県種苗交換会補助事業</b> 種苗交換会と同時開催の協賛行事を主催する協賛会への補助	補助→ (新規)			24年度で終了	35.0

② 農業の担い手を育成する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	<b>あきたを元気に！農業夢プラン実現補助事業</b> 複合経営に取り組む農業者の農業機械・施設導入費に対して助成	補助	補助	補助 (縮小)→	畑作振興基金による拡大分は25年度で終了	百万円 73.9
重点	<b>がんばる農業者総合支援対策補助事業</b> 認定農業者を目指す農業者の農業機械・施設導入費、特別栽培農産物認証経費等に助成	補助	補助	補助 (縮小)→	畑作振興基金による拡大分は25年度で終了	6.5
重点	<b>畑作就農定着促進事業</b> ねぎ等の主要作物の農業技術を学ぶための農業技術センター等での研修	実施	実施	実施→	継続して実施	3.6
重点	<b>未来農業のフロンティア育成研修事業</b> 新規就農等のため、県内の研究機関や花き種苗センター等で研修する際に奨励金を交付	実施	実施	実施→	継続して実施	1.2
重点 市民 見直	<b>畑作定着ブローザー事業</b> 新規就農者等へ地域のベテラン農業者による栽培技術の指導	実施	実施 (終了)→		25年度で終了（畑作振興基金事業）	0.5
市民 見直	<b>市民菜園事業</b> 市民の健全な余暇活用と農業への理解を深めるために市民菜園を開設	実施 (見直し)	実施	実施→	利用者管理への移行を検討	0.2

③ 農業生産を効率化する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	<b>モミガラ補助暗渠施工支援補助事業</b> 戦略作物等の高収量・高品質化のためのモミガラ補助暗渠施工へ嵩上げ補助	補助	補助 (終了)→		25年度で終了（畑作振興基金事業）	百万円 1.0
重点	<b>畑作生産基盤改善支援事業</b> 畑作ほ場の土壤改善のための排水対策、地力増強対策に助成	助成 (新規)	助成 (終了)→		25年度で終了（畑作振興基金事業）	1.1
	<b>カントリーエレベーター利用向上対策補助事業</b> 利用農家の負担軽減及びカントリーエレベーターの利用率向上のための助成	補助 (新規)	補助	補助→	継続して実施	5.7
	<b>県営ため池等整備事業（県事業負担金）</b> 県が実施するため池等整備事業への負担	矢崎地区 (終了)→			24年度で終了	1.5
	<b>県営ほ場整備事業（県事業負担金）</b> 県が実施するほ場整備事業への負担	常盤本郷 轟	下田平	荷上場 下田平→	継続して負担	9.5

④ 農地を保全する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	<b>農地・水保全管理支払交付金事業</b> 地域の農地・水・環境の良好な保全を図るために農村集落における地域活動を支援	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 42.5
	<b>中山間地域等直接支払交付金事業</b> 農業生産条件が不利な中山間地域の農地保全等のための活動に対する助成	実施	実施	実施→ (終了)	現行制度が26年度で終了予定	5.0
重点	<b>不作付け水田等再生活用事業</b> 不作付地として3年以上経過した農地の再生作業費に対する助成	実施 (新規)	実施 (終了)	→	25年度で終了（畑作振興基金事業）	0.4
	<b>空き家・空き農地情報化事業</b> 農村部への定住促進を図るために空き家・空き農地情報をホームページに掲載	実施	実施	実施→	継続して実施	0.1
	<b>鳥獣被害（農作物）防止対策事業</b> ニホンザルやツキノワグマによる農作物の被害を防止するための捕獲や追い上げを実施	実施	実施	実施→	継続して実施	3.3

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (4)	山・川を生かす林業・木材産業・水産業
---------	--------------------

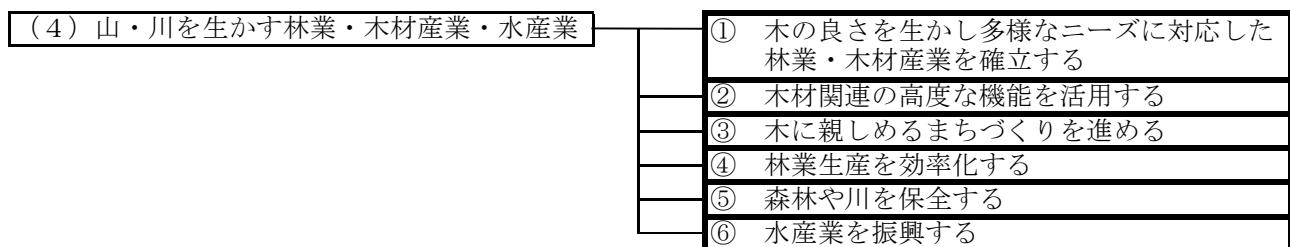
基本構想でめざす姿や状態

- 秋田スギの利用が進み、林業や木材産業の経営強化につながること。
- 秋田スギの良さを伝え、木のまちとして、街なかに木のぬくもりを感じられること。
- 産学官が連携して調査や研究が進み、林業や木材産業の育成につながること。
- 森林の手入れや保全により、水の貯留や浄化などの機能を維持でき、水産資源の持続的な利用につながること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5 年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
木材製品出荷額	22,782百万円 (H18年)	23,000百万円	維持	
木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合	35.9% (H19年度)	55.0%	70.0%	市民意識調査
木の学校利用者数	10,975人 (H18年度)	13,000人	15,000人	
共同研究等（委託含む）で実際に商品化できた件数	0件 (H18年度)	2件	5件	
松くい虫被害量	970m <sup>3</sup> (H18年度)	750m <sup>3</sup>	500m <sup>3</sup>	
漁獲高（海）	159 t (H17年度)	159 t	維持	

施策の体系



実施事業の概要

- ① 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業を確立する

事業区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	<b>地場産材PR支援事業</b> 首都圏等で開催される見本市等への出展への支援	支援	支援	支援→	継続して支援	百万円 0.4
	<b>地場産材供給促進事業（緊急雇用事業）</b> 被災地を中心とした木材需要等の情報収集、供給可能な建築用部材について情報発信を実施	実施→ (新規)			24年度に実施	9.9
重点	<b>木製品研究開発支援事業</b> 木材利用推進のため幅広い分野への製品開発を支援	支援	支援	支援→	継続して支援	0.5
	<b>地場産材活用住宅供給促進事業</b> 秋田スギ厚板活用住宅の供給体制整備のための検討委員会の開催、性能試験等	実施	実施→ (終了)		25年度で終了	7.6

② 木材関連の高度な機能を活用する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	<b>秋田県木材加工推進機構支援事業</b> 木材高度加工研究所と業界の連携を図る秋田県木材加工推進機構との交流活動等への支援	支援	支援	支援	機構のあり方について検討	百万円 2.0
見直	<b>技術開発センター事業</b> 技術開発センターの管理、木材業者に対する技術指導、木材加工機械の貸出し等	実施	実施	実施	施設のあり方の見直しを検討	16.7

③ 木に親しめるまちづくりを進める

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	<b>木のまちづくり推進事業</b> 秋田スギの温もり補助金として、住宅の新築・増改築等の秋田スギ内外装材使用に対して補助	実施 (検証)→			これまでの効果を検証し、今後の事業を検討	百万円 5.0
市民	<b>木の学校事業</b> 木の学校の管理、木の良さ・大切さをPRするための木工教室、木工体験等の実施	実施	実施	実施	継続して実施	5.3

④ 林業生産を効率化する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>森林整備事業</b> 市有林の良質材生産と森林の多面的機能を保全するため間伐等を実施	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 34.7
重点	<b>森林資源供給基地整備事業</b> 木材生産を強化するため、森林の団地化を行い、団地化区域の間伐、作業道開設に助成	助成 (新規)	助成	助成	24年度より実施	12.0
重点	<b>森林資源供給システム構築事業</b> 原材料の安定供給のため、一定年数内の出材量見込みや森林の収支予測等のシステム構築を実施	実施 (新規)	実施	実施	24年度より実施	1.5
	<b>林道西ノ沢小滝線開設事業</b> 森林管理道の開設工事(計画開設延長4,700m)	計画延長 713m	計画延長 680m	計画延長 480m (終了)	26年度で終了予定	63.5
	<b>林道米代線開設事業（県事業負担金）</b> 県が実施する林道米代線開設事業への負担	整備 (終了)			24年度で終了	5.8
	<b>林業専用道梅内沢線整備事業（県事業負担金）</b> 県が実施する林業専用道梅内沢線整備事業への負担(計画開設延長1,980m)	計画延長 600m	計画延長 680m (終了)		25年度で終了予定	3.0

⑤ 森林や川を保全する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>松くい虫対策事業</b> 松林を松くい虫から保護するための伐倒駆除及び薬剤散布等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 42.8
市民	<b>松くい虫対策市民活動支援事業</b> 個人の庭木等の松くい虫被害木の拠出処理	支援	支援	支援→	継続して支援	1.8
	<b>森林整備計画推進事業</b> 施業履歴が確認できない森林について、間伐等の必要性を評価	実施 (新規)	実施	実施→	24年度より実施	1.0
	<b>梅内地区治山事業</b> 崩落箇所の治山事業を実施	設計 工事→ (新規)			24年度で実施	7.0

⑥ 水産業を振興する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>水産業振興事業</b> 内水面漁業振興のための稚魚放流等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 0.2

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (5)	まちのにぎわいをつくり出す商業
---------	-----------------

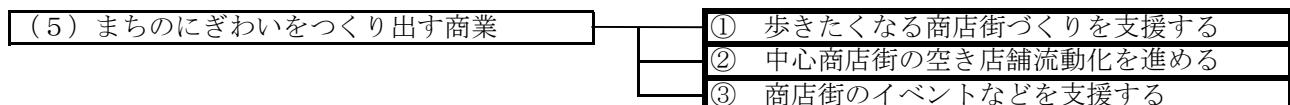
基本構想でめざす姿や状態

- 商店街に人が集まり、交流やにぎわいが生まれ、街に活気があること。
- 商店街や個店に特色があり、空き店舗の活用が進むこと。
- 商店街と大型店の連携があり、市外に出なくとも買い物ができること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5 年後の目標 (平成24年度)	10 年後の目標	備 考
地元商店街や近所の商店を利用するこことを心がけている市民の割合	45.7% (H19年度)	58.0%	70.0%	市民意識調査
商店街の空き店舗率	18.5% (H18年度)	18.5%	維持	

施策の体系



実施事業の概要

① 歩きたくなる商店街づくりを支援する

事業区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>中心商店街活性化促進事業</b> 商店街振興組合等が実施する環境整備事業に対して支援	(支援)	(支援)	(支援)→	商店街振興組合等の取組に支援	百万円 —
	<b>のしろ木工品市場事業（緊急雇用事業）</b> 能代の木工品を集めた展示販売場所の設置、出張販売等の実施	実施 → (新規)			24年度に実施	6.7
市民	<b>市民プラザ事業</b> 市民プラザ、ビジターセンターの運営管理	運営管理	運営管理	運営管理→	継続して管理	9.9
	<b>能代街なか商業情報発信調査事業（緊急雇用事業）</b> 商業振興による街なか活性化のための各個店の情報発信を支援	実施 → (終了)			25年度以降については民間へ移行を検討	6.5
市民	<b>二ツ井中心部にぎわい創出推進事業</b> 二ツ井中心部の商店街団体等が実施する空き店舗等を活用した事業に対する支援	実施	実施	実施→	自主性の醸成と積極的な事業展開の支援を検討	0.3
市民見直	<b>二ツ井地域商業振興事業</b> 二ツ井地域の商店会等の事業への補助	補助	補助	補助→	自主性の醸成と積極的な事業展開の支援を検討	0.8

② 中心商店街の空き店舗流動化を進める

事業区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>空き店舗流動化支援補助事業</b> 空き店舗取得者・賃貸者への改装費等の補助、賃貸者への固定資産税相当額の補助	補助	補助	補助→	継続して実施	百万円 7.0

③ 商店街のイベントなどを支援する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>商店街活性化補助事業</b> 商店街団体等のイベント、販売促進活動や空き店舗等を活用する企画などに対する支援	補助	補助	補助→	継続して支援	百万円 1.0

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (6)	豊かな自然とその恵みを活かす観光
---------	------------------

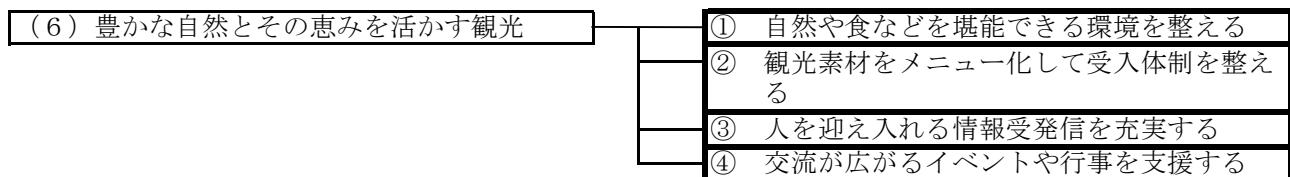
基本構想でめざす姿や状態

- 観光による交流やにぎわいが生まれ、地域に活気があること。
- 豊かな自然や特色ある郷土料理など、地域資源の魅力により、来訪者の満足度が高まること。
- 観光やイベントの宣伝ができていて、地域のイメージが高まること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
観光客入込数	1,397,546人 (H19年)	1,600,000人	1,800,000人	
豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合	46.1% (H19年度)	56.0%	70.0%	市民意識調査

施策の体系



実施事業の概要

- ① 自然や食など堪能できる環境を整える

事業区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>風の松原案内事業</b> 「サン・ウッド」に風の松原案内スペース、散策用自転車を設置	実施	実施	実施 →	継続して実施	※観光宣伝事業に含まれる
市民	<b>食彩人支援事業</b> 「食」の宣伝のために実施する能代観光協会の食彩人事業への支援	支援	支援	支援 →	継続して支援	—
	<b>伝統的工芸品等物産振興事業</b> 首都圏等での物産販売、伝統工芸品振興のための負担等	実施 (拡充)	実施	実施 →	24年度より出店回数を拡充	2.0
	<b>能代ねぶながし館管理事業</b> 能代エナジアムパーク内の能代ねぶながし館に展示している七夕灯ろうの管理	管理	管理	管理 →	継続して管理	0.1
	<b>共用自転車駐輪場管理事業</b> サイクルステーション及び共用自転車の管理	実施 → (終了)			観光用途における利用は24年度で終了し、25年度以降については検討	2.3
市民	<b>きみまち阪公園休憩所等施設整備事業</b> 公園内の売店等の整備及び眺望確保のための樹木伐採	実施 (新規)	実施 → (終了)		関係課との連携を図り、地域一体となつた取組の検討	21.4

② 観光素材をメニュー化して受入体制を整える

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	<b>旧金勇保存活用事業</b> 国登録有形文化財であり木都能代を象徴する旧料亭金勇の保存と活用	実施設計 改修工事	改修工事 供用開始	保存活用	24年度より改修事業を実施	百万円 4.9
市民	<b>地域資源活用観光力向上事業（緊急雇用事業）</b> カヌー等の地域資源を活用して観光振興に結び付けるための基盤づくりを実施	実施  (新規)			24年度に実施	2.6
	<b>能代観光協会補助事業</b> 能代観光協会内に観光専門家を配置するため助成を実施	補助  (新規)	補助	補助	24年より補助	6.3
市民	<b>グリーンツーリズム推進事業</b> 農家民宿を含めた体験型の教育旅行等の受入体制整備等	実施	実施	実施	継続して実施	0.5
市民	<b>滞在型観光推進事業</b> 各種キャンペーン活動及び誘客活動等	実施	実施	実施	事業効果の検証と秋田DCに向けた独自の取組を検討	2.4
	<b>五能線沿線観光等推進事業</b> 五能線沿線をPRするための誘客活動等	実施	実施	実施	継続して実施	0.3
市民	<b>大館能代空港利用促進事業</b> 大館能代空港の利用促進及び需要拡大のための活動	実施	実施	実施 (縮小)	航空機運賃助成は25年度までに終了	16.3

③ 人を迎える情報受発信を充実する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点見直	<b>観光案内所設置事業（緊急雇用事業）</b> 観光案内所の設置	実施  (新規)			24年度中に県補助金終了後の体制について検討	百万円 5.7
	<b>道の駅整備事業</b> 道の駅整備の検討	用地測量  (拡充)	通行量調査  (新規)	基本設計等	24年度に民間との研究会を設置し可能性を検討	1.7
	<b>観光宣伝事業</b> 観光パンフレット作成、誘客宣伝活動等	実施	実施	実施	継続して実施	4.0
	<b>能代山本広域観光事業（県事業負担金）</b> 山本地域振興局が行う能代山本圏域の観光マップや観光宣伝ホームページ作成費用に係る負担金	実施  (新規)	実施	実施 (終了)	事業の推進に積極的に関わること	0.9
見直	<b>能代PR大使事業</b> 首都圏等在住者をPR大使として委嘱し、PR活動や情報収集等を実施	実施  (見直し)			24年度中に今後の必要性について検討	0.2
市民	<b>能代フィルムコミッショナリ補助事業</b> 能代フィルムコミッショナリの事業に補助	補助	補助	補助	継続して補助	0.2
	<b>道の駅ふたつい管理事業</b> 道の駅ふたついの二ツ井総合観光センター、リフレッシュトイレ、駐車場の管理等	管理	管理	管理	継続して管理	4.7
	<b>道の駅ふたつい観光強化事業（緊急雇用事業）</b> 道の駅ふたついの観光機能強化のため、HP等での情報発信、チラシ作製等を実施	実施  (新規)			24年度に実施	2.7

④ 交流が広がるイベントや行事を支援する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民見直	<b>行事観光支援事業</b> おなごりフェスティバル、能代港まつり花火大会、観光協会への補助等	支援	支援	支援	観光協会の統一を検討	百万円 16.9
市民	<b>大型七夕復活推進事業（緊急雇用事業）</b> 大型七夕を復活させ、交流人口の増加と地域活性化のためのイベントとして開催する準備を実施	実施 (新規)→			24年度に実施	百万円 8.6

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (7)	自然と共生し地域で支える環境保全
---------	------------------

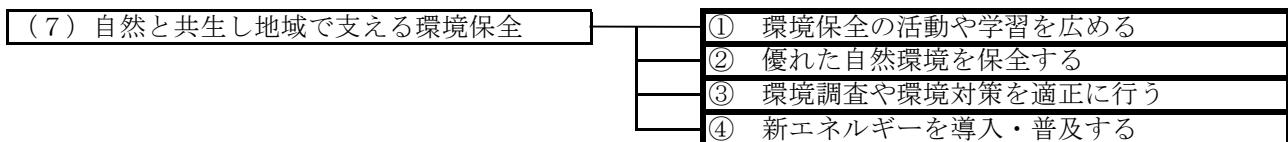
基本構想でめざす姿や状態

- 自然と親しみ、自然を通して人がふれあい、地域の財産として保全と活用ができるここと。
- 環境問題に対して適正に対処し、良好な環境を保全できること。
- 身近な環境や自然、エネルギーに関する理解が深まり、地域ぐるみの環境活動につながること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合	71.7% (H19年度)	81.0%	90.0%	市民意識調査
環境自治体スタンダード(LAS-E)の合格ステージ	第1ステージの合格 (H19年度)	第2ステージ、エコアクション部門の合格	着実にレベルを上げる	

施策の体系



実施事業の概要

① 環境保全の活動や学習を広める

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	<b>環境のまちづくり推進事業</b> 資源循環に取り組む市民活動に対する補助、環境のまちづくりの啓発活動等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 1.0
市民見直	<b>環境マネジメントシステム推進事業</b> 環境自治体スタンダード(LAS-E)を活用して環境マネジメントを実施	実施 (検証)	実施	実施→	24年度に効果の検証と今後について見直しを検討	1.2
市民	<b>環境学習推進事業</b> こども環境探偵団及び環境大学講座の開催等	実施	実施	実施→	継続して実施	0.1

② 優れた自然環境を保全する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	<b>環境保全活動事業</b> 小友沼及び周辺環境保全など自然環境保全のための活動等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 0.6

③ 環境調査や環境対策を適正に行う

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>一般環境調査事業</b> 地域環境の実態把握のための水質調査及び土壤調査等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 4.3
	<b>産業廃棄物最終処分場関連環境調査事業</b> 旧能代産業廃棄物処理センターの周辺環境を把握するための水質調査	実施	実施	実施→	継続して実施	1.5

④ 新エネルギーを導入・普及する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	<b>再生可能エネルギー導入促進事業</b> 再生可能エネルギー・ビジョンの策定及び再生可能エネルギー発電事業化調査の実施	実施 (新規)	(実施)	(実施)→	25年度以降の事業は策定するビジョンの中で検討	百万円 19.6

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (8)	資源を大切に社会を持続できる衛生環境
---------	--------------------

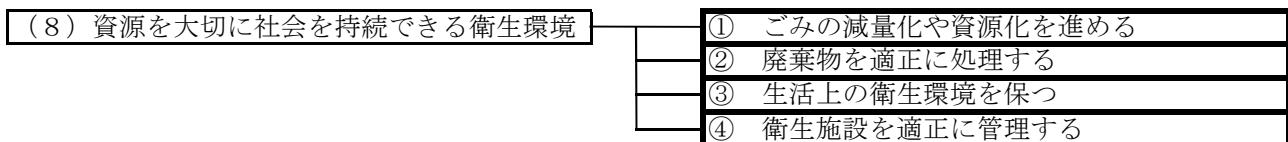
基本構想でめざす姿や状態

- 普段の生活からごみの減量化や資源化が進むこと。
- 環境に対する意識が高まり、いつもまちがきれいであること。
- 生活上の衛生が保たれること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5 年後の目標 (平成24年度)	10 年後の目標	備 考
1人1日あたりごみ排出量	642g (H18年度)	544g	544g以下	
限りある資源を大切にするため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市民の割合	88.5% (H19年度)	92.0%	95.0%	市民意識調査

施策の体系



実施事業の概要

① ごみの減量化や資源化を進める

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	<b>モア・リサイクルプラン推進事業</b> 廃棄物減量等推進員の活動支援、資源回収団体への支援、ごみ減量化の啓発活動等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 1.4
	<b>ごみ収集運搬事業</b> ごみの収集と運搬	実施	実施	実施→	継続して実施	169.2
	<b>リサイクルセンター管理事業</b> リサイクルセンターの管理、容器包装プラスチック分別保管等	実施	実施	実施→	継続して実施	16.0

② 廃棄物を適正に処理する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>ごみ・し尿処理事業（広域等負担金）</b> 能代山本広域市町村圏組合等で実施するごみ処理及びし尿処理への負担	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 723.0
見直	<b>日影沢最終処分場管理事業</b> 日影沢最終処分場の管理	管理	管理	管理→	手数料の見直し及び廃止時の取り扱いについて検討	26.6
	<b>大沢ごみ処理場管理事業</b> 大沢ごみ処理場を閉鎖するための監視調査	監視調査	監視調査	監視調査→	継続して調査	2.2

③ 生活上の衛生環境を保つ

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>害虫駆除等事業</b> スズメバチ駆除用具の貸与等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 —
	<b>狂犬病予防事業</b> 犬の登録及び狂犬病予防接種	実施	実施	実施→	継続して実施	0.6

④ 衛生施設を適正に管理する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	<b>斎場管理等事業</b> 市斎場の管理、藤里町斎場利用に対する負担	管理・修繕	管理・修繕	管理・修繕→	継続して実施	百万円 29.4
	<b>墓地管理事業</b> 市営墓地の管理	管理	管理	管理→	継続して管理	4.2